

企業に求める 産学連携ニーズ 発表会



オンライン

視聴無料

2024年度 補助金情報



北海道内の**研究者と企業**の産学連携による新規事業の創出を目指したイベントをオンラインで実施いたします。

研究の社会実装に向けては、事業化や製品化を目指す過程で**企業が必要になる場面**があります。本イベントでは、5名の研究者が**企業に求める産学連携ニーズ**を発表し、後日、**情報交換・マッチングの機会を提供**いたします。

ぜひこの機会をご活用ください。

試作したい

汎用的な
製品にしたい

AIで解析
したい

ソフトウェア
を開発したい

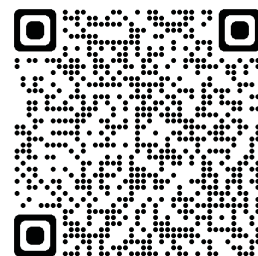
日時：2024年**3月19日**（火） **17：00～18：15**

申込先：<https://forms.gle/8RmWygV6AtaFSdKG8>

申込期限：2024年3月15日（金）

主催： **SAPPORO** **NOASTEC**

協力： **B** SAPPORO
BI LAB



【問い合わせ先】

公益財団法人北海道科学技術総合振興センター（ノーステック財団）

研究開発支援部 梶原・小原

011-708-6392 kenkyu@noastec.jp

企業に求める産学連携ニーズ

「タモギタケ菌系発酵大豆を利用した機能性食品素材の開発」

北見工業大学 応用化学系 教授／佐藤 利次 氏

タモギタケで発酵させた大豆は、イソフラボンアグリコン、抗酸化活性の上昇、エルゴステロールとエルゴチオネインの生成が確認され、骨粗鬆症モデルマウスの骨密度の回復等が示唆された。本研究では、タモギタケ菌系発酵大豆の生理機能性をさらに評価し、タモギタケ菌系発酵大豆による新規機能性食品の開発を試みる。そのために、タモギタケ発酵大豆を利用した各種食品の試作や大豆以外の各種キノコ発酵原料の提案を求めます。

「Flow energeticsの応用を目指したソフトウェア開発」

旭川医科大学小児科学講座 助教／岡 秀治 氏

手術成績の向上に伴い先天性心疾患術後の患者様が年間9千人程度増加しています。しかし手術で根治した訳ではなく、遠隔期には様々な合併症が発生します。従来の検査では心機能評価には不十分な点もあり、最近では血流評価の重要性も報告されております。しかし血流評価の機器は高額で、一般には普及していません。我々は従来の検査法から血流評価を可能にできるソフトウェアの開発を希望し、新たな心機能評価の開拓を目指します。

「オルガノイド超音波検査を達成するゲル性緩衝材の開発」

北海道大学 大学院保健科学研究院 病態解析学分野 准教授／田村 彰吾 氏

オルガノイドは生体内の組織・臓器を試験管内で再現した人工組織であり、発生生物学、疾患病理学、再生医療などの幅広い分野の研究ツールとして期待される。我々は人体の臓器・組織構造を画像診断できる超音波検査をオルガノイドの成熟度評価に応用した、「オルガノイドの非侵襲的品质評価法」を開発している。しかし、超音波検査で培養シャーレ内のオルガノイドの断層像を描出するためには、超音波強反射体であるシャーレの底から発生する残留多重反射(アーチファクト)を抑える「ゲル性緩衝材」が必要になる。ゲル性緩衝材の開発にあたり、ゲル素材の種類や特性に強い企業からご助言をいただくと幸いです。

「Mixed Reality技術を用いた次世代型遠隔遺伝カウンセリング手法の社会実装を目指して」

札幌医科大学医学部産婦人科学講座 同附属病院遺伝子診療科 助教／真里谷 奨 氏

COVID-19の世界的蔓延により、遠隔診療をはじめとした非対面型の医療が急速に普及してきた。しかし一方で、繊細なコミュニケーションスキルが求められる遺伝カウンセリングにおいては、ノンバーバル情報の不足等、課題が多い状況である。我々は札幌医科大学と北海道大学との共同研究下で、Mixed Reality下での遺伝カウンセリング関連コミュニケーションについて実証実験を行ってきた。今後社会実装を目指すにあたり、共同研究・御支援をいただける企業との連携体制構築を希望している。

「匂いのDX化を実現する人工嗅覚センサの開発」

北海道大学 電子科学研究所 教授／長島 一樹 氏

近年、新しい情報源として“匂い”が注目されています。私たちは匂い情報を収集する人工嗅覚センサの開発や、収集した匂い情報による価値創造(ヘルスケア・セキュリティ・医療・食品分野など)をターゲットとした研究を進めています。近い将来に匂いデータのその場解析・利用を実現し、匂い情報の利用範囲を拡大するために、エッジデータ解析やAIロボット実装、スマホアプリ開発等でご協力いただける企業様を探しています。